

Lバンド保証WDM伝送用光ケーブル

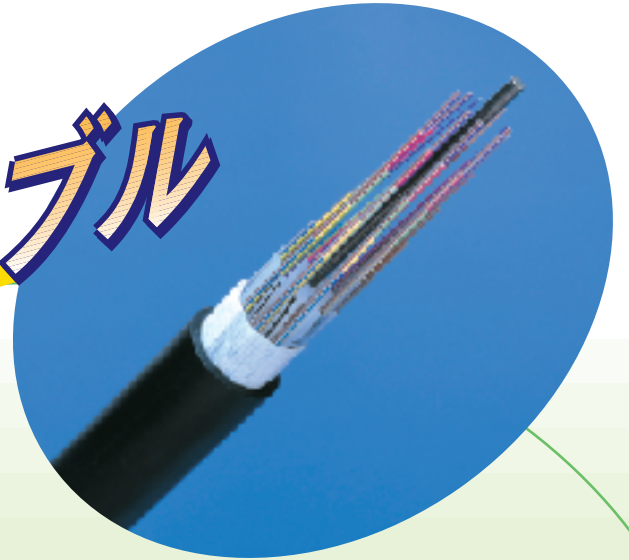
We can.

SM332-AWL

地域公共ネットワーク

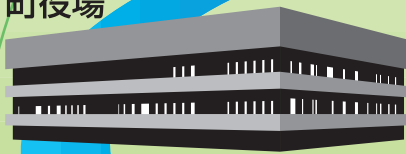
CATV用

光ファイバケーブル

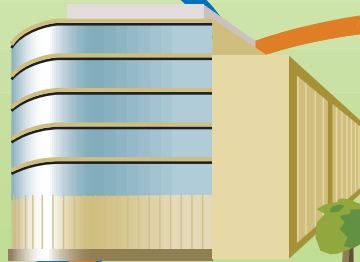


市役所

町役場



地域公共ネットワーク



情報センター

CATV局



CATV



CATV局



村役場



CATV局

● 光ネットワーク

古河電工

用途

シングルモードファイバとして扱えるほか、地域公共ネットワークやCATV等に最適なCWDM伝送用の光ファイバケーブルとしても使用できます。

ケーブルの特長

従来のSMファイバを改善し、1280nm～1625nmで使用でき、CWDM伝送に最適。

● Eバンド帯のOH基による吸収損失を改善

Eバンド帯の損失を大きくする要因となっているOH(水酸)基結合を除去する製造方法を採用。

● Lバンド帯(1625nm)も保証

ケーブル構造等の改善により、Lバンド帯の伝送損失も保証。

構造・特性

● 光ファイバ

項目	仕様値
モードフィールド径(at 1310nm)	8.6±0.4μm
クラッド径	125±1μm

● ケーブル構造

4心/8心テープ・吸水テープ型

● 伝送損失

波長 (nm)	伝送損失 (dB/km)
1310	0.34
1550	0.20
1625	0.21

※数値は参考値です。

● 耐水素特性

波長 (nm)	伝送損失 (dB/km)
1383	0.34

※サンプリングしたファイバを水素分圧0.01 at mの雰囲気中にさらし、1240nmの損失増加量が0.03dB/km以上となった時の1383nmでの伝送損失。
※数値は参考値です。

● ケーブルカットオフ

1260nm以下

● 分散スロープ

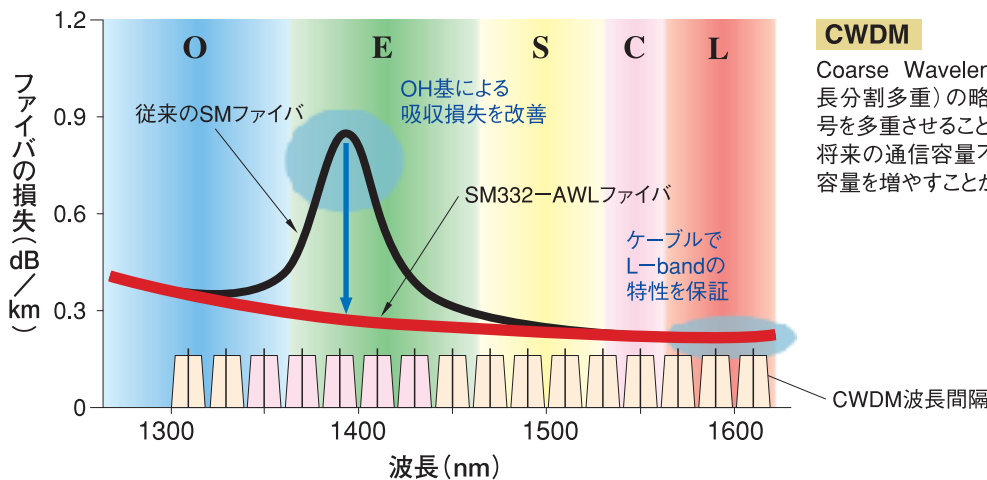
0.092ps/nm²・km以下

● 曲げ特性

30φ×10ターン at 1550nm : 0.01dB/km (参考値)

30φ×10ターン at 1625nm : 0.1dB/km (参考値)

60φ×10ターン at 1625nm : 0.01dB/km以下



CWDM

Coarse Wavelength Division Multiplexing (低密度波長分割多重)の略で、1本の光ファイバに波長の異なる信号を多重させることにより、容量を増やす技術です。将来の通信容量不足時においてもケーブルを増設せずに容量を増やすことができます。